

特別委員会

適

正な除染管理を引き続き行うよう求める
除染作業の実績・検証と次年度の取り組み

一般住宅の除染率は96%で、道路の除染は年度内完了を目指し努力中であるとのことでした。また、生活圏内の森林除染は除染率が83%で、仮置き場の確保が必要であるとのことでした。

委員会としては、町民が安心して帰町できるように行政が現地に出向き、適正な除染管理を引き続き行うよう求めました。

除染効果の検証を行うためモニタリングを2月中に行い、その結果を町民へ通知することでした。

平成25年度除染作業

は、生活圏道路の沿線から20m範囲の除染、家屋敷地に隣接している空き地・原野・雑種の除染および墓地の除染と未同意の住宅・農地の除染、さらには、住宅廻りの線量が低減しない箇所の追加除染を行うとの説明がありました。

委員会としては、25年作付けに支障がないようにすること。追加被ばく線量年間1ミリシーベルトを目指すこと。また、地元企業の育成を踏まえ広野復興組合も視野に入れた除染業務を行うなどの提言をしました。

進出希望企業などは官公庁関係で2件、企業関係の住宅メーカーなどで3社、テナント入居希望企業十数社との説明を受けました。



復興計画のシンボル事業となる駅東側土地利用

特別委員会

地

域住民に周知するよう提言
駅東側地区の取り組み

進出希望企業などは官公庁関係で2件、企業関係の住宅メーカーなどで3社、テナント入居希望企業十数社との説明を受けました。

岡土木事務所建設には、恒久的な建築物にするよう県に要望するよう求めました。

委員会としては、富岡土木事務所建設には、恒久的な建築物にするよう県に要望するよう求めました。

駅東側地区の取り組み

みは、地域住民の理解がいただければ成り立たないことから、当事業の説明を周知するよう提言しました。

さらに、復興計画と復興整備計画との整合性を図るために、復興計画の見直しを行う必要性を確認しました。

第1回臨時会

災害公営住宅整備事業に係る財産の取得を可決



仮置き場で保管される汚染廃棄物

2月14日に第1回臨時議会を開きました。

汚染廃棄物仮置場整備工事（2工区）請負金額の増額変更や災害公営住宅用地の取得、個人積算線量計の購入などについて審議し、全会一致で可決しました。また、固定資産評価審査委員の選任に同意しました。

質疑では、汚染廃棄物の保管方法や公共用地取得に向けての体制強化、議会へのしつかりとした説明など意見が出されました。

人事案件に同意

固定資産評価審査委員



鈴木光一氏
(大字上北迫)

取得物件
個人積算線量計 3300台
専用パソコン 2台
取得価格
4351万8300円
契約の相手方
株式会社千代田テクノル福島営業所

取得財産
災害公営住宅用地
土地（面積：15472㎡）
取得価格
3481万2000円

工事請負契約の変更
広野町汚染廃棄物仮置場整備工事（2工区）
契約の金額
2億4675万円を2億7590万7450円に変更。
2915万7450円の増額
請負者
常磐開発・西本建設工事共同企業体

特別委員会

東

日本大震災義援金配分状況報告
町義援金の配分

東日本大震災義援金の国義援金、県義援金、町義援金に係る配分状況の報告を受けました。町への現在までの義援金総額は1億9239万8808円となっており、平成25年2月1日現在の配分額等は1億8493万4950円となっているとのことでした。

双葉地方災害弔慰金審査会で、関連死と認定された方に対しても、津波死亡者と同額の1人50万円の義援金を支給してきましたが、残高が少なくなっていることから、今後は支給しない方針であることを確認しました。

しかし、委員の間からは今後における関連死も支給すべしとの意見もありました。

臨時会 質疑

仮置き場は何力所ありますか

遠藤 智議員

仮置き場はフレコンバックなどをそのまま置く場所と受けとめるのですが、現在仮置き場は何力所ありますか。

松本建設課長

3カ所です。うち2カ所はフレコンバックの下に遮水シートを敷き、上にまた覆う形で処置保管します。もう1カ所は草をロールで丸めた形で置き、これもフレコンバックと同等の安全性があります。

公共用地取得に関する委員会の開催は

渡邊正俊議員

広野町には公共用地取得に関して委員を置くという条例が設置されています。これらの条例に基づいた手続等は、公共用地取得にこそなされなされたのか、なされなかったのですか。

黒田副町長

委員会は開催はしておりません。課長会議の中で判断をしました。